

林業いろいろQ&A

Q どんな会社があるの？

A 富士市周辺には、次の育成経営体^{※1} や認定事業体^{※2} があります。

富士市周辺の育成経営体・認定事業体

R3.4.1現在

◆ 富士市森林組合
◆ 有限会社 富士山林メンテナンス
◆ 日本製紙木材 株式会社
◆ 株式会社 ヤマキ
◆ 株式会社 Get-Forest
◆◇株式会社 白糸植物園
◇ 株式会社 森林業
◇ 株式会社 大富士林業
◇ 株式会社 富士森林サービス
◇ 有限会社 まるいチップ工業

◆:育成経営体 ◇:認定事業体

各事業所では、市や企業、個人からの依頼をうけ、森林の整備を行っています。主に施業プランの作成を行うところ、整備作業を行うところ、その両方を行うところと、事業所により仕事内容に違いがあります。

※1:育成経営体とは、静岡県が認定している、森林所有者及び林業従事者の所得向上につながる効率的かつ安定的な林業経営の実現や森林経営の継続性の確保を目指す取組を行っている事業者のことであります。

※2:認定事業体とは、「林業労働力の確保の推進に関する法律」の第5条の規定に基づき、林業従事者を雇用して造林業・育林業又は素材生産業を営む事業主が「雇用管理の改善と事業の合理化を一体的に進める計画（改善計画）」を作成・申請し、その改善計画が知事から認定された事業主のことであります。

Q 給料や休みはどうなっているの？

A 国で定める基準に沿って規定している林業経営体が多くあります。

給与は、月給制あるいは日給月給制がほとんどです。額は事業体によりさまざまですが、休暇や社会保障制度はどこもしっかり規定しています。



Q 体力に自信がないんだけど…

A 伐採や枝切りできる高性能林業機械の導入が進んでいます。

高性能林業機械は、施業を効率的にするだけでなく、作業員の体力の消耗も軽減します。また、現場作業以外にも施業プランの作成など頭を使う仕事もたくさんあります。



木を伐る機械（ハーベスタ）

Q 林業について学べる学校はあるの？

A 静岡県内では、静岡大学と静岡県立農林環境専門職大学・短期大学部で森林や林業について学ぶことができます。

静岡県立農林環境専門職大学・短期大学部では、チェーンソーの取扱いに始まり、森林調査、GIS、ドローンの操作実習等、林業に必要な技術の習得だけでなく、木材の流通や林業経営まで幅広く学べるカリキュラムが用意されています。

実習の様子（県立農林環境専門職大学）

林業とSDGs

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。林業によって森林を守り、育て、活かす「森林との共生」は、SDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」をはじめ、目標6「安全な水とトイレを世界中に」、目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標13「気候変動に具体的な対策を」等様々な目標の達成に貢献しています。



富士市役所 産業経済部 林政課 静岡県富士市永田町1丁目100番地
TEL: 0545-55-2783 FAX: 0545-51-1997 E-mail: rinsei@div.city.fuji.shizuoka.jp



林業

水を蓄え
災害を防ぐ

CO2を吸収し
地球温暖化を防止する

木材を生産し
建築を支える

先輩が語る 林業の魅力



富士市森林組合 / 本多さん

富士市出身の本多さん。大学では社会福祉を学んでいましたが、自然に関わる仕事がしたいと、富士市森林組合に就職されました。森林施業プランナーとして、森林整備計画を作る仕事をしています。山林所有者に整備のBefore Afterを丁寧に説明しているそう。「森林整備をして山が綺麗になると嬉しいです。持続可能な森林作りを目指しています。」



株式会社 森林業 / 山口さん

高校生の頃から林業に興味があったという山口さんは、福井県出身。最初は林業の入り方が分からず工場等に勤めていましたが、後に福井の森林組合に就職し、現在は富士市に移住して株式会社森林業で森林整備を担当されています。「整備の前後では景色が違う。林業はやればやるだけ成果が目に見えるし、色々な景色を見ることができるのが良いです。」

林業の仕事

林業は、基本的に「木を植えて、育て、成長したら伐り、伐った木を出荷して、伐った場所にまた木を植えて…」の繰り返しです。植えてから伐るまでは50年以上の長い年月がかかります。



山は手入れが必要



手入れされた山

林業により手入れされ、植物が元気に育つ良い森林です。植物が雨水を受け止め、水を蓄えることで下流域の災害を防ぎ、CO2を吸収して地球温暖化を防止します。



放置された山

山の手入れをせず放置したままにすると、陽が入らず草も生えない暗い森林になります。土がむき出しで流れやすく、水を蓄えることができないため、山崩れの原因となります。

富士市の林業の特徴



市内森林の大半がヒノキ

富士山南麓で育ったヒノキは、溶岩地でゆっくり時間を掛けて成長することで、細かな年輪により強度があり、きめ細かな白い木肌が特徴です。



輸送コストが安い

木材は重いため、どうしても輸送コストが高くなりますが、富士市内には木材市場や製材所、合板工場などがそろっているため、輸送距離が近く、輸送コストを抑えることができます。



富士地域木材のブランド化

「フジヒノキメイド有限責任事業組合」を通じ、富士地区林業振興対策協議会（会長：富士市長）が認定した工場で生産され、販売される富士山麓で育ったヒノキ製品を「FUJI HINOKI MADE」ブランドとして、首都圏への販路拡大に繋げています。



作業しやすい場所が多い

富士市内の森林は、林道がしっかり整備されているため、重機やトラックが入りやすいです。また、平坦な林が多いため、作業がしやすいです。



木材加工の選択肢が多い

富士市内に木材を「柱」「合板」「チップ」に加工する工場がそろっているうえ、柱をすぐ使えるようにカットしたり、チップを紙に加工したりする工場もあるため、木材を無駄なく活用できる環境が整っています。



出荷した木材のその後



柱 まっすぐで質の良い木材は住宅の柱になります。



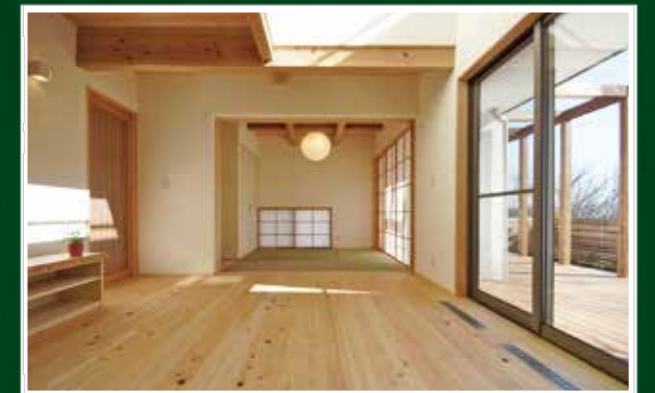
合板 少し曲った木材は合板の材料になります。



チップ 曲った木材や端材はチップになり、バイオマス発電や紙の原料になります。



富士ヒノキを使用した店舗例
タリーズコーヒー富士市中央公園店



富士ヒノキを使用した住宅例